



突然訪れる情報漏えい、 その損害額をご存知ですか？

企業を守るセキュリティシステム「DDH BOX」

中小企業が抱えるセキュリティリスク

01

ビジネスに釣り合わない 巨額の損害賠償額

情報流出による平均損害賠償額は約5億と言われ、大手企業でもその被害額は経営に深刻な影響を与えます。



02

社会的信用の 失墜

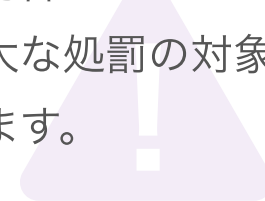
情報漏洩は個人の情報に直結する事案となるためメディアでも大きく取り扱われ実際の過失以上の社会的信用を失うことになります。



03

行政指導・業務停止命令 の対象となる

個人情報や機密情報を扱う企業には個人情報保護法など様々な法律や規制が関係しており、内容によっては業務停止命令など重大な処罰の対象となる可能性があります。



あなたの会社のセキュリティ対策は万全ですか？

「C2サーバー」という言葉をご存知ですか？

仮想通貨会社の情報漏洩など近年急速に被害が増加している標的型のはッキング攻撃には、ほとんどのケースでC2サーバーという情報流出を中継するサーバーが使用されます。

しかし、これまでの外部からの侵入を検知し、侵入をブロックする「ファイヤーウォール」や、怪しい動きをするプログラムを検知・停止する「ウイルス対策ソフトウェア」ではこれらの標的型の攻撃を100%ブロックすることはできません。なにがあっても情報を外に出さないC2サーバーに送信させない「出口対策」が重要なのです。



DDH BOX 3つの特徴

1

検知したC2サーバとの不正通信を即時に遮断

C2サーバとの不正通信を検知した時点で、通信そのものを停止します。お客様が通信の停止を判断する必要はありません。

2

ハッカーが使用する最新の不正通信を検知

内最大級のセキュリティ監視センターで毎日更新される、最新のC2サーバリストを取り入れ、C2サーバとの通信を見逃しません。

3

インターネット回線に接続するだけの簡単導入

オフィスのインターネット回線に接続しネットワーク設定をするだけ、30分ほどの簡単な工事で導入できます。



最新マルウェアの不正通信を検知してブロック。 社内から情報の流出をさせない「DDH BOX」



導入企業

業界問わず様々な企業様にご利用頂いております。

CyberAgent

ITbook HOLDINGS

ちゃんごほん 大戸屋 ごはん処 OOTOYA

TerraSky

GMO AD PARTNERS

OPTSP FIG GROUP

RELO CLUB

Link and Motivation Group

SUN FRONTIER サンフロンティア不動産株式会社

Japan PC Service

FINDEX

ROUTE INN BCL

PREMIUM WATE HighQuality Water Delivery Serv

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 Digital Information Technologies Corporation